

宇治市水道事業ビジョンの策定について

1. 策定の概要

本市では、平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」（以下「現水道ビジョン」という。）を策定し、令和元年度までの10年間を目標年次として、「安全で安心して暮らせる水道水の供給」を基本理念に、水道事業に取り組んできたところです。

令和2年度以降については、次期計画を策定し、計画的な事業推進に努めていく必要がありますが、現在、京都府において、令和2年度からの京都府営水道料金の改定が検討されており、水需要の約7割を京都府営水道で対応している本市にとって、京都府営水道料金の改定は、今後の水道事業経営に大きく影響することが見込まれるところです。

そのため、「現水道ビジョン」については、現在の施策を継続実施することを前提に、1年間の計画期間の延長を行い計画期間を令和2年度までとし、次期「宇治市水道事業ビジョン」については、京都府営水道の料金改定を踏まえた計画策定となるように、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間として策定することとしました。

また、策定にあたっては、平成30年度から各水道施設の基礎調査を実施するとともに、今後の水需要などを推計し、施設の重要度や更新・耐震化等の優先度を検討しながら計画を策定していきます。

なお、令和元年11月27日には、宇治市水道事業経営審議会を開催し、「宇治市水道事業ビジョン」の策定について、審議会に諮問しました。

2. 水道ビジョンとは

水道の現状と将来見通しを分析・評価し、水道のあるべき将来像について、すべての水道関係者が共通目標を持って、その実現のための具体的な施策や工程を包括的に示すものです。

国においては、給水人口と給水量の減少や水道施設の更新需要の増大、東日本大震災をふまえた危機管理対策の必要性など、水道の事業環境が大きく変化する中で、平成25年3月に、「安全、強靱、持続」の3つの観点による「新水道ビジョン」を新たに策定しました。

3. 現「宇治市地域水道ビジョン」の概要

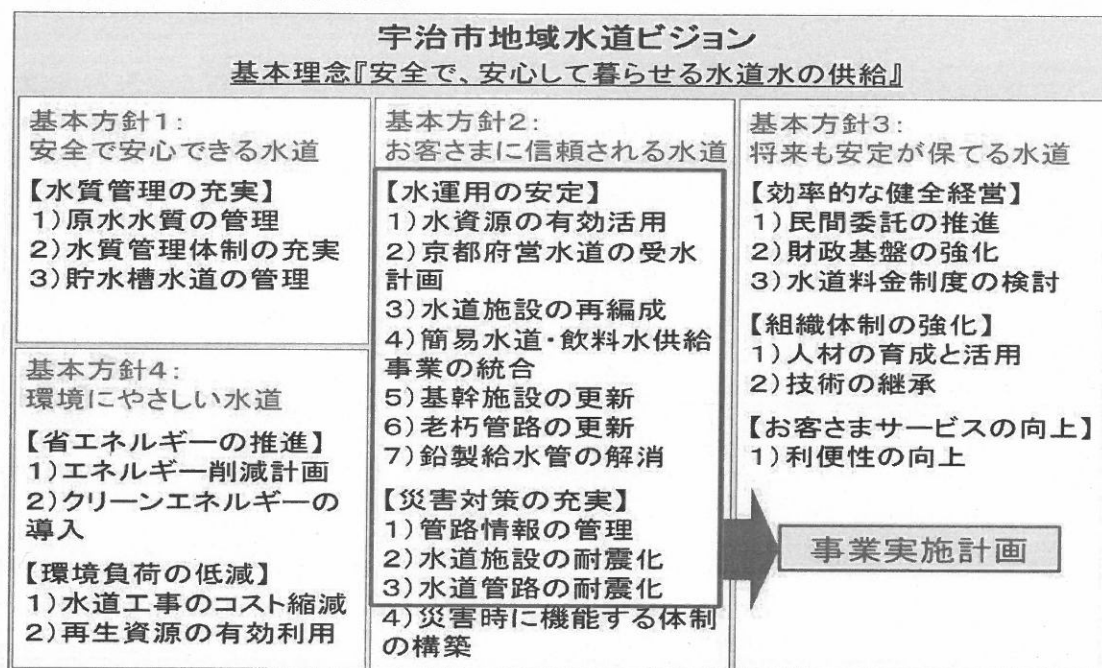
国の「水道ビジョン」に準拠し、「安全で、安心して暮らせる水道水の供給」という宇治市の基本理念と「安全、安定、持続、環境」の4つの基本方針に基づく24の施策を設定しています。

・計画期間：平成22年度～令和2年度（11年間）

・目標年次：令和2年度

また、水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めた事業実施計画を策定しています。

施策体系と事業実施計画



4. 現在の施設耐震化率

各水道施設の耐震化の取り組みによって、令和元年度末の耐震化率は、目標値を達成する見込みです。

耐震化の状況	平成30年度末実績	令和元年度末見込み	令和元年度目標値
浄水施設の耐震化率 【全国平均（H29）：29.1%】 【京都府平均（H29）：52.6%】	0.0%	約74%	74%
配水池の耐震化率 【全国平均（H29）：55.2%】 【京都府平均（H29）：46.5%】	22.3%	約38%	38%
基幹管路の耐震適合率 【全国平均（H29）：39.3%】 【京都府平均（H29）：36.4%】	24.1%	約24%	24%

5. 令和2年度事業実施計画の概要

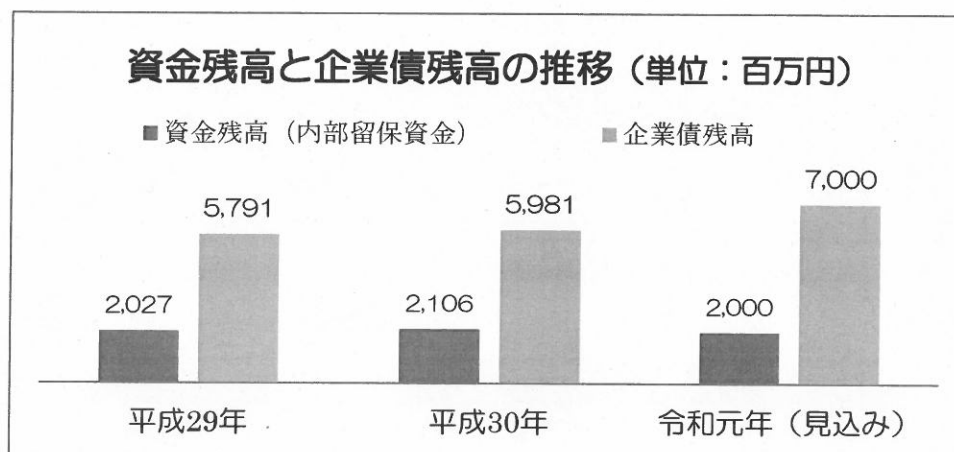
令和元年度からの継続事業であり、施設及び管路の更新事業が主となり、概算事業費は約13億円の見込みとなります。

施策	事業名	主な整備	令和2年度概算事業費
1) 水道施設の再編成	浄水場統廃合事業	老朽化した神明と奥広野浄水場を廃止し、新たな浄水場を整備	320百万円
2) 基幹施設の更新	宇治浄水場施設整備事業	宇治浄水場の施設の耐震化や電気、機械設備、場内配管等の整備	295百万円
3) 老朽管路の更新	老朽管更新・耐震化事業	石綿セメント管や鉄管等の老朽管の更新・耐震化	200百万円
4) 鉛製給水管の解消	鉛製給水管解消事業	移設、改良、修繕工事や他工事に合わせて、鉛製給水管の布設替	50百万円
5) 水道施設の耐震化	主要配水池耐震化等整備事業	主要な配水池の更新・耐震化 琵琶配水池の場内配管整備	227百万円
6) 水道管路の耐震化	基幹管路耐震化事業	下居配水池と琵琶配水池の連絡管の整備	208百万円
合計			1,300百万円

6. 今後の財政収支の見通し

近年、約20億円で推移している資金残高は、今後減少見込みです。一方、企業債残高は、水道施設の更新・耐震化事業の実施に伴い増加見込みです。

- ・ 資金残高（内部留保資金）：減価償却費などの現金支出を伴わない支出や利益によって、企業内に留保される自己資金
- ・ 企業債残高：建設改良事業等に要する資金に充てるための借り入れ残高



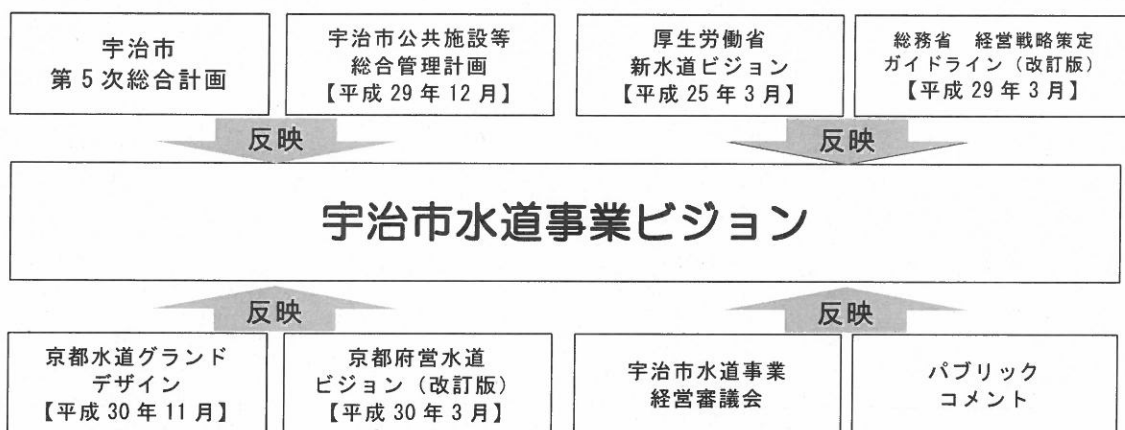
京都府営水道の料金改定答申案（料金算定期間：令和2～6年度）

- ・ 建設負担料金（水源開発や施設整備費等の負担料金）
（現行）44円/㎥ → （改定案）55円/㎥
- ・ 使用料金（実際の使用水量に応じて支払う料金）
（現行）20円/㎥ → （改定案）28円/㎥

7. 次期「宇治市水道事業ビジョン」の策定

国の「新水道ビジョン（平成25年3月策定）」に準拠するとともに、「経営戦略策定ガイドライン」に基づき、事業実施計画並びに経営戦略を包括する内容として策定します。また、国の指針や宇治市の「総合計画」、「公共施設等総合管理計画」等に基づき策定します。策定にあたっては、宇治市水道事業経営審議会及びパブリックコメント等の市民意見を反映させて策定します。

- ・計画期間：令和3年度～令和12年度（10年間）
- ・目標年次：令和12年度



8. 今後のスケジュール

今年度から来年度にかけて、宇治市水道事業経営審議会にて、水道事業の現状と評価、将来像や目標等について論議をしていただき、計画案のパブリックコメントの実施を経て、令和3年3月に、計画を策定予定としています。

項目	令和元年度							令和2年度												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
審議会 予定			●			●			●			●			●					
	第1回審議会			第2回審議会				第3回審議会				第4回審議会			第5回審議会					
	・水道ビジョンとは			・水道事業の現状と課題				・将来見通し			・ビジョン(案)			・ビジョン(案)修正						
	・現水道ビジョンの概要			・現水道ビジョンの評価				・具体的施策			・答申(案)			・答申						
	・計画期間の延長			・将来像と目標設定																
その他																	●			●
														パブリックコメント			答申			
																	水道ビジョン完成			

宇治市水道事業経営審議会委員名簿

(任期: 令和元年11月27日～令和3年11月26日)

(区分順: 敬称略)

選出区分		氏 名	職 名 (団 体 名)
学識経験者	1	清水 聡行	立命館大学理工学部講師
	2	◎ 西垣 泰幸	龍谷大学経済学部教授
	3	山本 真一	京都文教大学総合社会学部准教授
水道事業有識者	4	伊木 聖児	京都市上下水道局水道部長
	5	○ 向畑 秀樹	(財)京都市上下水道サービス協会理事長
市内公共団体	6	西出 美恵子	宇治市女性の会連絡協議会
	7	保田 美幸	宇治商工会議所女性会副会長
	8	山田 良尚	連合京都南山城地域協議会議長
	9	横川 ひとみ	(福)宇治市社会福祉協議会理事
水道使用者	10	岐部 省一	(株)平和堂アルプラザ宇治東支配人
	11	島津 たまゑ	宇治市消費者団体連絡会
	12	向山 ひろ子	市民委員
	13	山崎 信子	市民委員
経営等有識者	14	徳田 明子	税理士

◎会長 ○副会長